

～亜希さんの故郷・福井のソウルフード試食も♪～
『亜希の「ふたが閉まるのか？」弁当』出版記念イベント

株式会社オレンジページ(東京都港区)より刊行された、亜希さん初の弁当レシピ&エッセイ本『亜希の「ふたが閉まるのか？」弁当』の出版記念イベントが、3月18日(月)釜浅商店(東京都台東区)で開催されました。テレビや雑誌で活躍する亜希さんの貴重な料理&トークイベントに応募が殺到！ プラチナチケットとなった本イベントの様をお伝えいたします。



亜希さんの故郷・福井のソウルフード「ソースカツ弁当」を披露

イベントは書籍収録レシピの亜希さん本人によるデモンストレーションからスタート。1品目「にぎらないふんわりおむすび」に続く2品目は亜希さんの故郷・福井のソウルフード「ソースカツ弁当」。ちょうどイベント前日に、北陸新幹線が福井まで延伸したエピソードをうれしそうに語りながら実演は進みました。亜希さん流は、特製の甘辛ソースをあらかじめご飯にもたっぷりかけて、その上にソースをからめたカツをのせる、ソースだけでもどどんご飯が進む一品！ 会場でふるまわれたミニソースカツ弁を試食した参加者たちは「カツが薄くて食べやすい♪」「ソースが甘めでおいしい！」と笑顔に。さらに、「見た目はしっかり味なのに、亜希さんのようにやさしい味」との感想には、即座に亜希さんから「座布団3枚！」の声がかかり、会場は笑いに包まれました。



「ふたが閉まるのか？」弁当、盛り付けも実演



続けて、表紙を飾る「究極の塩から揚げ弁当」の生盛り付けも！塩から揚げは、下味なし・片栗粉をまぶすだけで揚げ、仕上げに塩をふるだけのシンプルレシピ。「このから揚げなら、朝多めにつくって、夜に違うソースで味変もできるのよ」と、作り置きアレンジも紹介していました。

ユニークな表紙に込められた亜希さんの想い

亜希さんと編集担当とのトークショーでは、ふたと弁当箱の間から亜希さんが顔を出している表紙の裏話にも触れました。「おうちにこの本が置いてあって、写真の私と目が合うと元気になる、そんな表紙にしたかった。みなさんにエールを贈るような気持ちを込めました」と語る亜希さん。大胆でユニークな表紙に込められていたのは、亜希さんらしい読者を大切にしたい想いでした。



お弁当づくりのモチベーションを上げるには？

トークショーでは、参加者からの質問や相談に答えるコーナーも。「毎日のお弁当づくり、モチベーションを上げるには？」と聞かれると、「キッチンをきれいにすること！」と即答。「口に入るものを扱う水回りは、とくにピカピカにしておくことが大事。そこがきれいだったら、1日の始まりが気持ちいいじゃない？」と語る亜希さんに、会場の参加者も深くうなずいていました。

昨年「バイオリン」を始めた亜希さんが感じたこと

参加者のお話をきっかけに、話題は、亜希さんが昨年からはじめた習い事「バイオリン」についても。稽古の時間に自分と向き合うことで、負けず嫌いな自分を発見。めったに泣かないという亜希さんが思わず悔し泣きしたこともあったとか。「悔し泣きは人を1つ上にあげてくれる。大人になっても得るものがあるんだな、と(バイオリンに)教えてもらいました」と語り、スポーツに打ち込んでいた息子たちに、今の自分ならもっと違う言葉がかけられたかもしれないと感じたとも話していました。

「SNSにお弁当の写真をアップしているけれど、フォロワーは娘だけで……」と話した参加者には、「家族に作る食べものの記録って、お母さんが子どもに残す最大のプレゼントだと思う。バトンを渡すっていうのかな」とやさしく声をかけた亜希さん。「私もこの本が息子たちへのプレゼント。だから、本のなかには2人の写真も入れたの」と、ちょっと照れくさそうに語ってくれました。

参加者からの相談に「わー、それは大変ね！」と目を合わせて共感したあとに、「私はね」とユーモアを交えて親身にアドバイスする亜希さんに、参加者は大きなパワーをもらっていました。

サイン会ではひとりひとりのふれあいも

イベントの最後にはサイン会も実施。名前を書き入れながら、「どこからいらしたの？」「息子さんは何年生？」など、ひとりひとりに笑顔で優しく語りかける亜希さんの姿に、今回のプラチナチケットで参加できたみなさんの感激もひとしお。サイン本を大事そうに抱え、会場をあとにしました。



■『亜希の「ふたが閉まるのか？」弁当』出版記念イベント概要

【開催日時】3月18日(月)

11:00~13:00、15:00~17:00

※抽選制で各回30名、計60名

【開催場所】釜浅商店 合羽橋店

4F キッチンスペース

(東京都台東区松が谷 2-24-1)

【デモ内容】「にぎらないふんわりおむすび」

「ソースカツ弁当」「究極の塩から揚げ弁当」

盛り付けデモンストレーション

【試食】「ミニソースカツ弁当」と「究極の塩から揚げ」

【トークショー】亜希さんと編集担当:小柳恵理子(『オレンジページ net』編集長)による内容紹介
参加者から事前に寄せられた質問に回答

【サイン会】



『亜希の「ふたが閉まるのか？」弁当』

～母ちゃんと息子2人、笑いと涙の18年の弁当記録～

2024年3月15日(金)発売 1760円(税込)

A5版、平綴じ、本文144ページ <https://www.orange-page.net/books/1784>

■亜希(料理家・コメンテーター・ファッションブランドディレクター)

1969年、福井県生まれ。2019年にモデル業を引退。現在はアパレルブランド「AK+1」のディレクターを務めながら、テレビのコメンテーターや料理家として活躍。大学生と高校生の男児を育てている。食べがかりの息子たちに作る豪快な料理や、明るく飾らない人柄が、幅広い世代に人気。日テレ系の情報番組「DayDay。」にて木曜レギュラー(隔週)として活躍中。YouTube「亜希の母ちゃん食堂」配信中。オンラインサロン「まどい家の人々」も好評。著書に『亜希のことば』(講談社)、『家 ごはんと野球』(CCCメディアハウス)ほか。

Instagram @shokatsu0414

YouTube <https://www.youtube.com/@thebapartment4513>

まどい家の人々 <https://www.madoikenohitobito.com/>



<このリリースに関するお問い合わせ先>

〒108-0073 東京都港区三田 1-4-28 三田国際ビル 16F 株式会社オレンジページ

総務部 広報担当:遠藤 press@orange-page.co.jp